

公開・非公開の別

■公開・□部分公開
□非公開

令和6年度 第3回浜松市立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年2月14日(金) 午前10時00分から12時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立中央図書館 大会議室
- 3 出席状況 委員：岡田 建志、清水 友理子、遠藤 浩子、井手 千恵子、
大木 舞帆、永田 浩介、三宅 栄子、三津間 洋子

事務局：

文化振興担当部長 嶋野聡、
中央図書館長 枝村賢美、
中央図書館館長補佐 内藤真澄、
図書館管理グループ長 宮崎真理、
図書館サービスグループ長 鈴木早苗、
調査支援グループ長 川崎智子、
資料・情報グループ長 鶴飼康生、
天竜図書館長 笹竹由美子、春野図書館長 森下和之、
佐久間図書館長 奥山享司、水窪図書館長 宇井智洋、
龍山図書館長 鈴木忠、
中央図書館 森田ひとみ主任、北村麗風、佐藤瑞起

- 4 傍聴者 0人(一般：0人、記者：0人)
- 5 議事内容 (1) 令和6年度浜松市立図書館利用に関する
アンケート調査結果について(報告)
(2) 令和7年度図書館評価指標について
(3) その他
・西図書館の移転について

- 6 会議録作成者 図書館管理グループ 北村麗風

- 7 記録の方法 発言者の要点記録

- 8 会議記録

- 1 開会
2 会長あいさつ
3 文化振興担当部長あいさつ
4 議題

(1) 令和6年度浜松市立図書館
利用に関するアンケート調査結果について(報告)

宮崎図書館管理グループ長が説明

◆資料1 令和6年度浜松市立図書館
利用に関するアンケート調査結果(館内・Web調査分)

質問意見

三津間委員

利用に関するアンケートや市民への約束評価月間アンケートの結果から、中央図書館が大規模改修を行った後も正しく機能しており、市民の方に評価していただいていることが分かった。

利用に関するアンケートの問3「図書館サービスの満足度」について(P6～11)だが、①～⑤の5つの視点のうち②「本などの資料の種類」は、他と比べて「満足」よりも「やや満足」の割合が多い。限られた予算の中でいかに資料を充実させるかというのは、図書館だけでなく学校図書館等でも課題だと思うが、どのような理由で「やや満足」という評価になったと考えているか。

また、図書館評価では貸出冊・点数が指標となっているが、そもそもの資料数については判断する指標がないのではないかと考える。判断するのが難しいのだろうか。

鵜飼G長

図書館の「蔵書へのご提案」として、利用者から随時提案を受け付けている。提案の有無に関わらず図書館として購入している資料もあるので、提案していただいた全ての資料を揃えられているわけではない。毎年5000タイトルほど購入検討をしているが、予算の関係上、実際に購入できるのは3分の2ほどである。

このような点において「やや満足」という評価なのではないかと考えている。

また、利用者それぞれの興味に合った本が様々であるため、すべての方が満足する資料を揃えきることができないという面もあると考える。

三津間委員

確かにひとりひとりが興味のあるジャンルは様々なので、その点が「やや満足」となる理由として納得できる。

また、公共の図書館であるので、世間で流行している本だけでなく、歴史的に価値のある資料などを保存しておくという役割もある。

今回のアンケートの結果が古い資料についてのことなのか、新しい資料のことなのか分からないが、様々な理由で「やや満足」が多くなっているということが理解できた。

岡田会長

大学でも、学生は資料へのリクエストができる。その際は1回の提案につき点数制限があり、高価でないものにするように、とあらかじめ示している。

図書館でも有効な方法であるかもしれないが、制限を設けることを不服に感じた利用者からご意見があるかもしれないので要検討ではある。

問4(P14～15)③浜松市文化遺産デジタルアーカイブと、④はままつ電子図書のWebで見られるコンテンツについて、「どちらでもない」が多いと感じる。ここで「どちらでもない」と答えている利用者が、資料の種類においても「やや満足」と答えている関連性があるのではないかと感じた。

鵜飼 G 長	現在浜松市は、「蔵書へのご提案」において特に制限は設けていない。また、提案がなくても、図書館として選書して購入している資料もあるため、提案された資料しか購入しないという仕組みにはなっていない。 電子図書については、図書館での提供が許可された資料の中から選んで購入するしかないため、利用者に人気のある資料が多くはないことが「どちらでもない」という評価が多い理由に繋がっているとも思う。
岡田 会 長	資料の収容スペースについては現在どのくらい余裕があるのか。
鵜飼 G 長	収容スペースはかなり圧迫されてきている。傷みが多いものは除籍したり、雑誌などは保存年数を決めて管理したりしている。価値のある本を除籍してしまったということがないよう、市内で1冊は城北図書館の自動閉架書庫に保管しておくようにしている。
岡田 会 長	電子図書をすぐに増やすことは難しいと思うので、バランスを取りながら充実させていってほしい。
三宅 委 員	新西図書館は収容スペースが増えるのか。
鵜飼 G 長	新西図書館は、床面積、書架数、閉架書庫ともに広くなり、収容スペースは今よりも増える予定である。
永田 委 員	中学生や10代以下の集計が少ないと思うが、この結果から次年度以降アンケート回収方法など、どのような改善を考えているか知りたい。
枝村 館 長	館内でアンケート配布をする際に10代の方に声掛けするなど、様々な方法が考えられるので、今回の結果を踏まえて次年度の改善の参考にしていきたい。
内藤 補 佐	中高生は閲覧席を利用することが多いため、閲覧席にアンケートのQRコードを置いておくなど工夫して、アンケート回収を増やせるようにしていきたい。
三津間 委 員	アンケートの回答数が少ない年代において、大学生は大学図書館を利用していたり、高校生は忙しくて図書館に寄る時間が短かったりと、様々な理由があると思う。 補佐の意見のとおり、QRコードを置いておくなどの工夫は、時間のない世代が気軽に回答できるため、回答数に良い影響があると思う。 しかし、アンケート結果を全体で見ると、どうしても他の年代と比べて集まりが悪いように見えてしまうという点はあると思う。
岡田 会 長	今回の意見を踏まえて、今後対応をお願いしたい。

(2) 令和7年度図書館評価指標について

宮崎図書館管理グループ長が説明

- ◆資料2 図書館評価について
- ◆資料3 図書館評価の方法について
- ◆資料4 令和7年度浜松市立図書館評価指標(自己評価)(案)
- ◆資料5 《参考》浜松市立図書館評価(令和5年度)

- 三宅委員 協議会で出た意見が指標の設定に取り入れられており、改善されていることを感じた。
「いかす」の指標の中で「障がい者向け資料の延べ利用者数」の目標が平均や実績に対して高いように感じるが、何か理由があってこの目標にしているのか。
- 早苗G長 資料4の「目標設定の根拠」という欄にあるように、過去の利用者数の増減率から算出した目標としている。
- 三宅委員 目標が高いと、達成率が下がってしまうという懸念があるがどうか。
- 早苗G長 今回のご意見を参考に担当と話し合って検討していきたい。
- 三津間委員 「つくる」の有効登録率はどのように算出しているのか。
- 宮崎G長 有効登録者数を浜松市の全人口で割っている。達成率は、実績を目標で割っている。
- 内藤補佐 浜松市の人口は減少傾向であり、減少率を算出して分母となる浜松市人口を見込んでいる。有効登録者数も、見込みを出して計算をしている。
- 三津間委員 高齢者は図書館に通うのが難しく、利用することが少ないと思う。高齢化社会のなかで、浜松市全体の人口の中に高齢者を含めると、有効登録率がどうしても少なくなってしまうのではないかと。
また、例えばブックスタートで登録して、その後更新せずにいるため有効登録者数が減っている、など、1回作ったがその後更新していない人数を数字で出し、把握することは難しいのか。
ブックスタートで子どものカードを作成した際に、保護者のカードも登録したり、すでに持っているカードが有効期限内か調べたりする働きかけができるのではないかと考えるがどうか。
- 鵜飼G長 統計の点で言えば、年齢別の登録者数は出すことが可能であり、おそらく乳幼児期に作ったカードが5年後の更新が行われずに有効期限切れになることも多いのだろうと推測することはできる。
しかし、その統計結果からだけでは、なぜ登録がなくなっているのか導き出すのは難しいところがある。高齢者についても同じことが言える。

三 津 間 委 員

学習支援パックなどの授業支援の取り組みのおかげで、子どもたちは間接的に図書館の本を利用している。

ブックスタート時に作成して小学生になったときに有効期限切れになってしまう利用者については、このような機会に利用者登録と紐づけることができないだろうか。

以前は、図書館見学などで小学生が来館したときにまとめて希望者を募って利用者カードを作成するというを行っていた記憶がある。個人情報など色々な制約があると思うので、今後の検討課題にしていいただければと思う。

岡 田 会 長

有効登録率について、全体だけでなく年代別の状況も見られるようにすると分かりやすく、具体的にコメントできるようになると思う。

補助的な資料として提供してもらうことは可能か。

鵜 飼 G 長

図書館として年代別の登録者統計も取っているので、有効登録率についての資料も用意することはできると思う。

岡 田 会 長

可能であればお願いしたい。

内 藤 補 佐

提案のとおり、浜松市の人口についても年代別で分かれば、登録率についてより分かりやすい資料を作成できると感じたため、今後検討していきたい。

(3) その他

・西図書館の移転について

三 宅 委 員

テナントとあるが、建物を借りるということか。また、賃借料はいくらくらいになっているのか。

宮 崎 G 長

一条工務店のマンションギャラリーを改装工事したものを、図書館として借りる予定。

枝 村 館 長

月額250万円の予算としている。

井 手 委 員

児童コーナーの充実とあるが、おはなしのへやはあるか。

宮 崎 G 長

用意してある。

井 手 委 員

おはなしのへやが児童コーナーと同じフロアにあるととても良いと思う。

内 藤 補 佐

児童コーナーの奥にフロア続きでおはなしのへやがあるようなレイアウトになっている。

5 閉会

9 会議録署名人 岡田 建志 会長

清水 友理子 委員

令和7年2月14日に開催された浜松市立図書館協議会の議事録の要点について、上記のとおり間違いないことを確認した。

令和7年3月31日

署名 清水 友理子

署名 岡田 建志